

# 平成26年度 南相馬市市民意識調査（概要版）

## 1. アンケート概要

**目 的**：本市では、未だ原発事故による影響が大きく、除染の問題や風評被害への対策をはじめ、地震や津波の被害により居住地への帰還の目処が立たないまま避難生活を送る市民など、様々な地域課題を抱えている。そのような状況下で、本市の抱える課題を整理・分析するとともに、新しい魅力的なまちづくりを進めるため、調査を実施した。

**実施期間**：平成26年6月30日（月）～平成26年8月4日（月）

**配布対象**：本市に住民登録をされている18歳以上市民のうち、無作為に抽出された3,000人

**回収数**：1,469通／3,000通

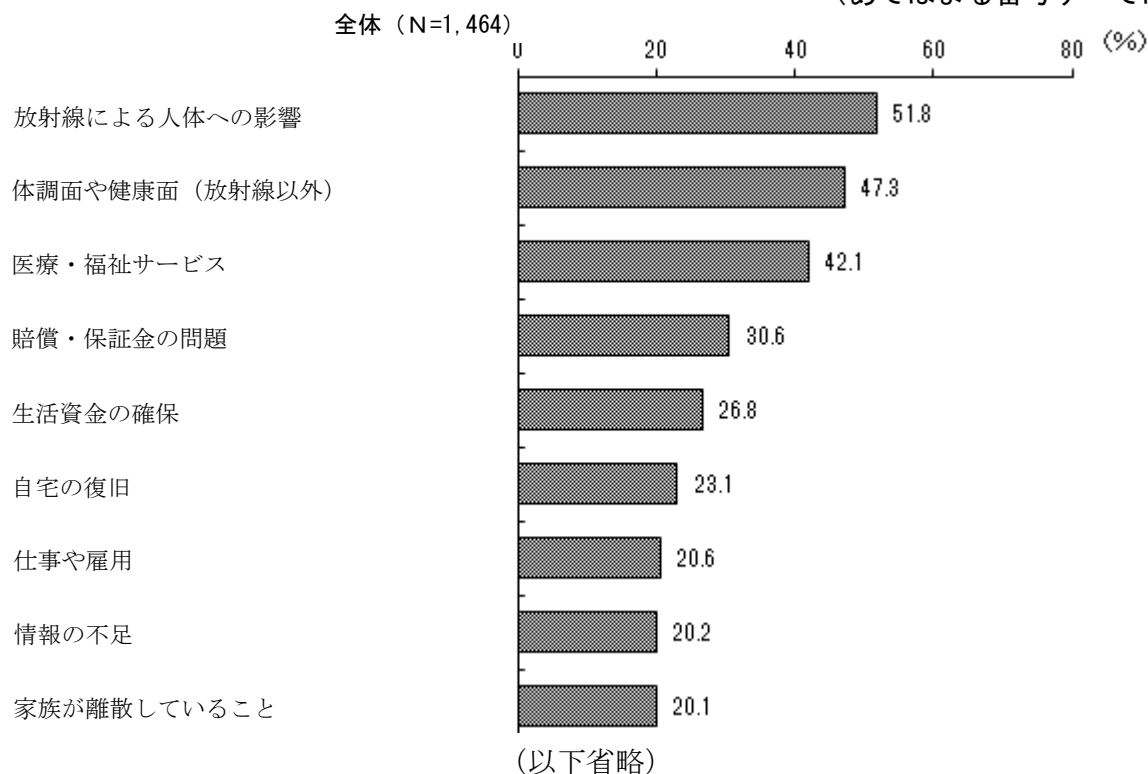
**回収率**：48.8%

## 2. 回答結果

### （1）生活の不安・心配【P.10参照】

問9 あなたは現在の生活の中で、不安や心配を抱えていることはありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

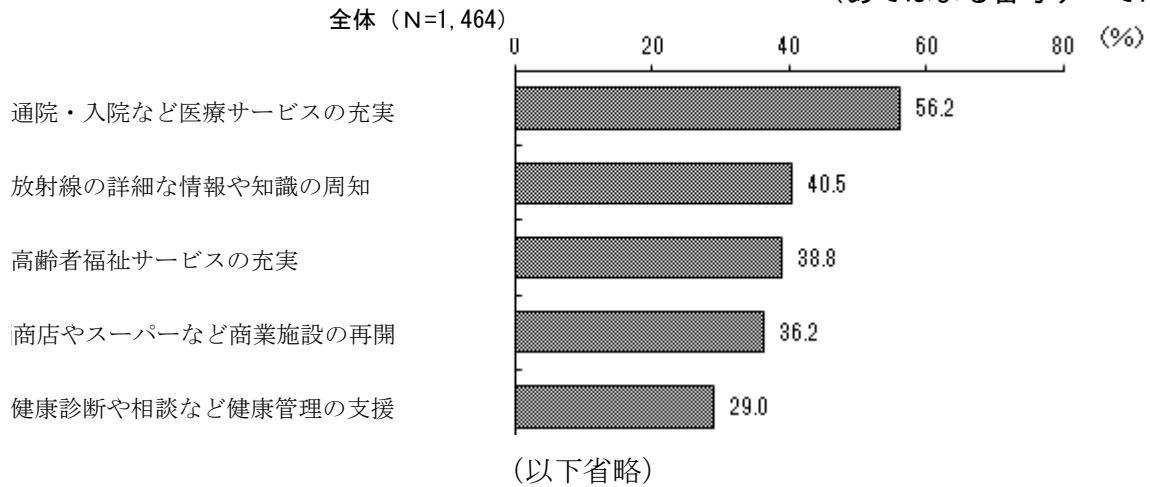


生活で抱えている不安や心配は「放射線による人体への影響」が51.8%と最も多く、次いで「体調面や健康面（放射線以外）」が47.3%、「医療・福祉サービス」が42.1%となっている。

**(2) 生活改善に必要な施策【P. 11 参照】**

問 10 あなたが日常生活の改善に向けて必要と考える施策をお選びください。

(あてはまる番号すべてに○)

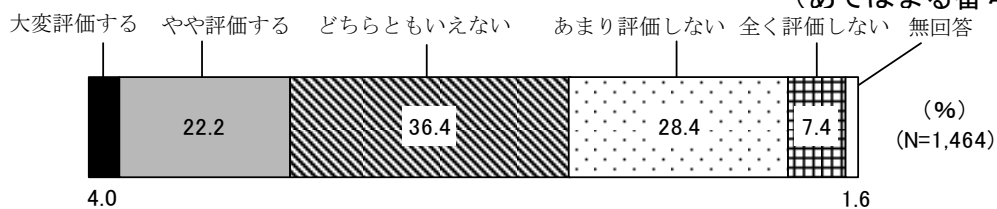


日常生活の改善に必要な施策について、「通院・入院など医療サービスの充実」が 56.2%と最も多く、次いで「放射線の詳細な情報や知識の周知」(40.5%)、「高齢者福祉サービスの充実」(38.8%)となっており、医療や福祉に関するニーズが高い。

**(3) 復興取組の総合評価【P. 12 参照】**

問 11 南相馬市の、復興への取組に対する総合的な評価はいかがですか。

(あてはまる番号 1 つに○)



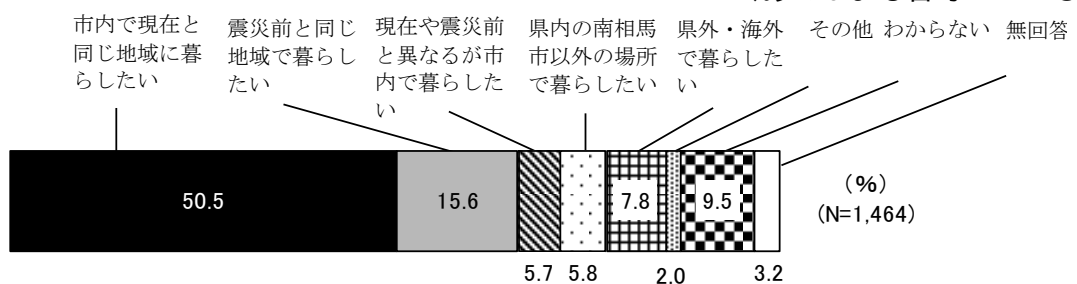
南相馬市の復興への取り組みに対する評価は、「どちらともいえない」が 34.6%と最も多い。

「全く評価しない」(7.4%)、「あまり評価しない」(28.4%)を合わせた《低評価層》は全体の3割半ばを占めており、「大変評価する」(4.0%)と「やや評価する」(22.2%)を合わせた《高評価層》を上回っている。

**(4) 今後の定住意向【P. 16 参照】**

問 13 あなたは南相馬市に、今後も暮らしたいと思いませんか。

(あてはまる番号 1 つに○)



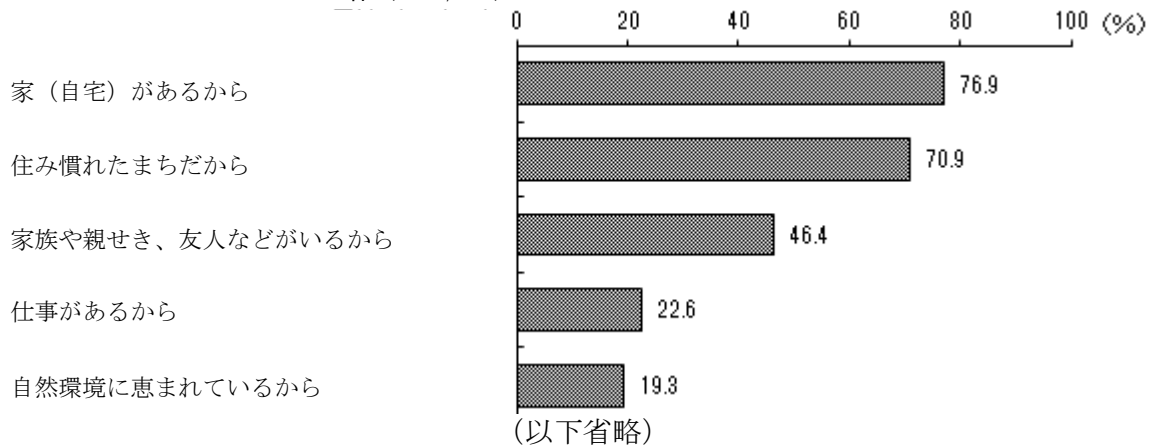
今後の南相馬市での定住意向について、「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」との回答が 50.5%と最も多く、「震災前と同じ地域で暮らしたい」(15.6%)、「現在や震災前と異なるが市内で暮らしたい」(5.7%)を合わせると、市内での定住を希望する人は全体の約7割となっている。

### (5) 南相馬市に居住し続けたい理由【P. 17 参照】

【問 13 で市内で暮らしたい(「1」～「3」)と回答した方にうかがいます。

問 13-1 その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

全体 (N=1,050)



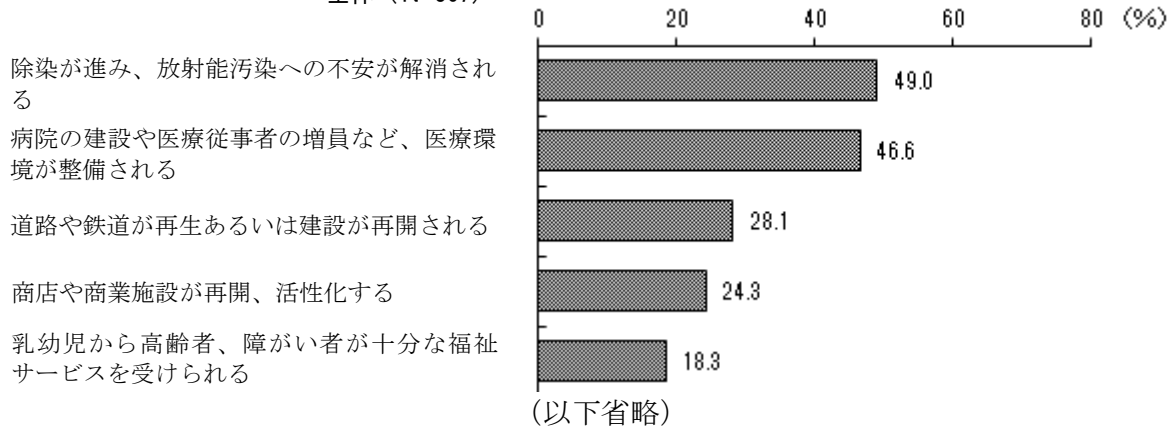
今後市内での居住を希望する人に、その理由をたずねたところ、「家 (自宅) があるから」(76.9%)、「住み慣れたまちだから」(70.9%) との回答が多く、ともに7割以上となっている。次いで、「家族や親せき、友人などがあるから」(46.4%) となっている。

### (6) 南相馬で暮らすための条件【P. 18 参照】

【問 13 で市外で暮らしたい、わからない(「4」～「7」)と回答した方におたずねします。】

問 13-2 どのようなまちになったら (条件が揃ったら)、南相馬市で暮らしたいと思いますか。(特にそう思うもの3つまで○)

全体 (N=367)

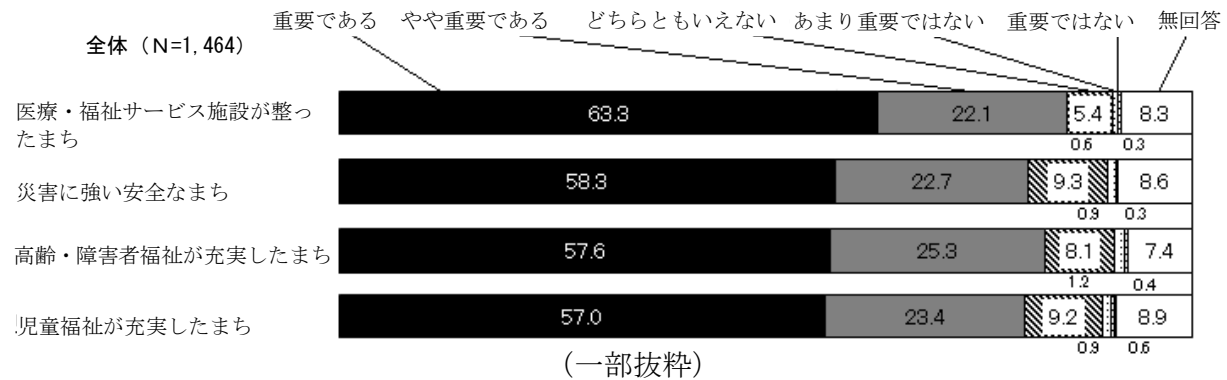


今後の居留意向について市外で暮らしたい、わからないと回答した人に南相馬で暮らすための条件をたずねたところ、「除染が進み、放射能汚染への不安が解消される」が49.0%と最も多く、次いで「病院の建設や医療従事者の増員など、医療環境が整備される」(46.6%)、「道路や鉄道が再生あるいは建設が再開される」(28.1%) となっている。

**(7) 将来像の重要度【P. 19 参照】**

問14 今後の南相馬市は、どのような「まち」になることが重要とお考えですか。以下に挙げる17の将来像について、それぞれの重要度をお答えください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

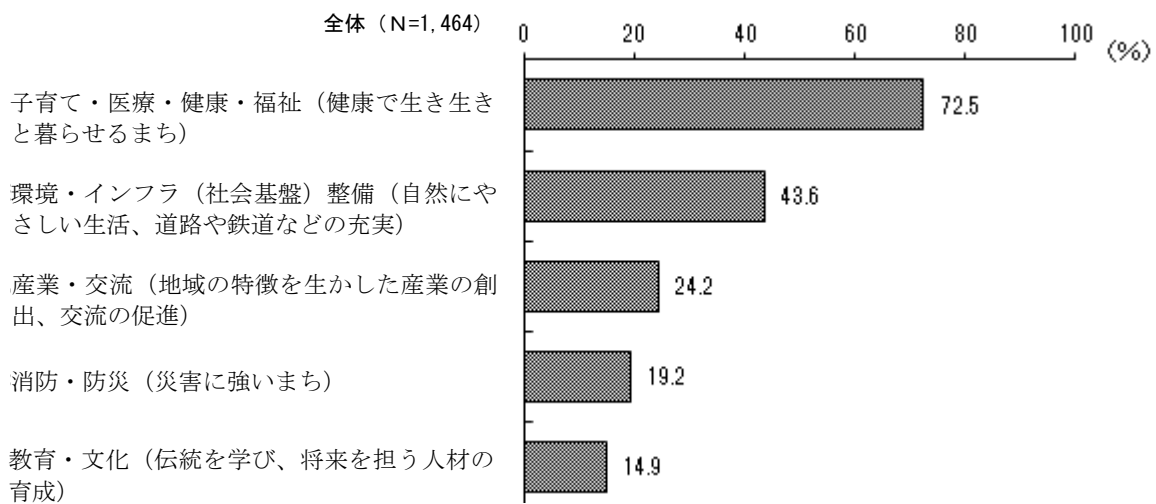


南相馬市の将来像について、「重要である」との回答は「医療・福祉サービス施設が整ったまち」(63.3%)が最も多く、以下、「災害に強い安全なまち」(58.3%)、「高齢者・障がい者福祉が充実したまち」(57.6%)、「児童福祉が充実したまち」(57.0%)となっている。

これらの項目では、「重要である」と「やや重要である」を合わせた《重要度》についても同様に8割以上と高く、防災に加え、医療や高齢者・児童福祉をまちの重要項目と考えている人が多い。

**(8) 力を入れるべき施策分野【P. 20 参照】**

問15 今後、南相馬市が取り組む施策のうち、特に力を入れるべき分野・事項についてお答えください。(特にそう思うもの2つまで○)



(以下省略)

南相馬市が取り組む施策で力を入れるべき分野・事項について、「子育て・医療・健康・福祉 (健康で生き生きと暮らせるまち)」が最も多く72.5%、次いで「環境・インフラ (社会基盤) 整備 (自然にやさしい生活、道路や鉄道などの充実)」が43.6%となっている。